

Japan Business Association of Southern California

1411 W. 190th St. Suite 220, Gardena, CA 90248
Phone : 310-515-9522 Fax : 310-515-9722

<http://www.jba.org>



去る8月8日、教育支援プログラム「U.S. Educators to Japan」(USEJ)で訪日したアメリカ人教師らによる報告会を開催した(詳細はp.2-3)

2-3

2015年度USEJプログラム報告会開催

4-5

第187回JBAビジネスセミナー報告

「豆腐バカ世界に挑む

～米国に於けるビジネス・マーケティング成功の秘訣～」

6-7 インタビュー「私のLAライフ」

8-12 各部会からのお知らせ

12 10月・11月のイベント・カレンダー

2015年度 USEJプログラム報告会開催

去る8月8日、トーランスのミヤコハイブリッドホテルで、JBAの教育支援プログラム「U.S. Educators to Japan (USEJ)」で訪日したアメリカ人教師ら3人による報告会を開催した。教師らは口々にこの日本滞在が自身の固定観念をいとも簡単に壊した貴重な体験だったと語り、JBA会員らに向けて訪日活動を詳細に報告した。

訪日体験は全てがパワフル アメリカの教育現場で役立てたい

今年で40年の節目を迎えたUSEJプログラムは、日系企業の駐在員子弟を受け入れているアメリカの現地校への謝意と対日理解の促進を目的として始まった。その後現在に至るまで、ロサンゼルス、サウスベイ、オレンジ・カウンティの学校を中心にアメリカ人教師（あるいは教育関係者）らを毎年選抜し、日本に派遣している。



YAKO
会の冒頭で挨拶をする三宅JBA
会長

午前9時。報告会が開始した。最初に三宅JBA会長が挨拶。「1945年に開始したUSEJプログラムは今年で40年を迎えました。今回皆さんは、日本の文化や伝統、教育システム、一般の家庭生活など、日本で貴重な体験をたくさんされたことでしょう。これを機により深く日本を理解できたと思います。その体験を今度は多様な人種が暮らすアメリカ社会でぜひ役立ててください」と語り、USEJの意義を再確認するとともに教師らの無事の帰国を喜んだ。

当日の報告会では訪日した7人のうち3人が集まり、スライドを使いながら日本での経験を紹介。一人目に、El Marino



レベッカ先生

Language School（カルバーシティー）のレベッカ・リンダー先生が壇上に立った。レベッカ先生は、日本の小学校を訪問した際、昇降口のくつ箱がきちんと

整頓されていることに感銘を受けたそうだ。また、日本独特の給食時間を見学し、生徒らが自ら責任を持って配膳、片付けを行っていることにも驚いたとし、学校生活の全ての行動が教育に結びついていると見解を述べた。また、道路にゴミ箱が設置されていないにもかかわらずゴミが落ちていない町の美しさにも感動したという。さらにホームステイの経験を挙げ、言葉の壁は確かに大きいとしながらも、互いに理解しようとするコミュニケーションの努力があったため自分としては大した問題ではなかったと語った。最後に、訪日中のパワフルな経験全てをアメリカの教育現場で役立てたいと抱負を述べた。



ロリ先生

ができたことを非常に喜んでいて。中でも、奈良県の斑鳩町で経験したホームステイが非常に心に残り、琴や茶道などさまざまな伝統文化に触れる機会に恵まれたことを紹介した。また、古都に残る寺社や伝統的建造物が大変美しく、何百年間もきれいに保存されていることに感動したそうだ。さらに、広島を訪れた際に聞いた被爆者の体験談は、一生自分の心に残り続けるにちがいないと語った。学校見学では、日本では当たり前だがアメリカではありえない生徒による掃除の時間が印象深かった様子で、「日本では掃除を教育の一環と捉えています。アメリカでも、トイレ掃除は無理でも教室の掃除なら取り入れられるのではないのでしょうか」と語った。また、教師と生徒と一緒に昼食

次に Hickory Elementary School（トーランス）のロリ・ナガオカ先生が報告を始めた。ロリ先生は日系アメリカ人で、自分のルーツでもある日本に行くこと



報告会に参加したアメリカ人教師らとJBA教育文化部会員

を囲む給食風景を見て、「月に1～2回、私も生徒と一緒にランチを食べてもいいかもしれない」と今後の抱負を述べた。

日本人は「Shy」ではない とても「Curious」な存在

最後は、Jeffrey Trail Middle School



クリスティーナ先生

（アーバイン）のクリスティーナ・マシエル先生が報告した。「一般的に、私の学校に通学する日本人学生はあまりしゃべりませんし、とてもおとなしいのです。

またクラスでも手を上げません。こうした日本人の性格は（扱いが）とても難しいと思っていました」と、冒頭でこれまでの「日本人観」を述べたクリスティーナ先生だったが、日本の学校での授業風景や放課後のクラブ活動、地域活動を見て、「実は日本人はまったく『Shy』ではなく、とても『Curious』であることが分かりました」と目からうろこが落ちた様子だった。また、自分のことは自分でしようとする価値観や、何に対しても貪欲に学ぼうとする姿勢に感銘を受けたと同時に、男子生徒も手芸などを習う「家庭科」の授業が時代に即して非常に「Inovative」と賞賛した。日本文化については、新旧がうまく混在しており、日本人はその両方を大切に守っていると語った。今回の訪日を経て、「人前で自分を表現するのが苦手な生徒には個別に話をする機会を設け、各人に合ったゴールを設定しながら色んなチャレンジをしてもらえるように工夫します」と自身の今後の教育方針を述べた。

3人の報告が終了後、昨年、同プログラムで日本を訪問した Wilson Elementary School（サンゲブリエル）のジーニー校

長と Palos Verdes Peninsula High School (パロスバーデス) のミシェル先生がそれぞれの体験を述べた。彼女たちも日本を訪ねたことでそれまでの人生観が大きく変わったとし、「外国で暮らす気持ちや平和の大切さ、平和を実現するための取り組みな



昨年の訪日体験を語るジーニー校長(左)とミシェル先生

ど、それまで考えもしなかったことを身近な問題として捉えられるようになった」と語った。



USEJプログラムの今後の発展を約束する海部JBA Foundation会長

その後ランチをはさんで海部JBA Foundation会長が挨拶。「日米関係の重要性や人生観の変化、議論することの重要性など、皆さんが得たことはたくさんあるはずですが、これからも互いに連絡を取り合っていくほしいですし、JBA としてもずっとこのプ

ログラムを続けていきたいと思います」と語った。



閉会の挨拶をする前田教育部会長

最後に前田教育文化部長が閉会の挨拶。「皆さんの体験談を聞くことができ本当に良かったです。皆さんはこれで私たちJBAファミリーの一員。今回の体験を基に、これからもさまざまな場で貢献していただけることを願っています」と報告会を締めくくった。



2015年度USEJプログラム訪日メンバー7人



貴重な着物の着付け体験をした教師ら



ホームステイで好み焼きに挑戦



広島では折り鶴を作って捧げました



人と同じようにかっぼする奈良の鹿に驚き!



日本の生徒と一緒に授業に参加しました

**MIYAKO
HYBRID
HOTEL**
TORRANCE, CALIFORNIA

Two Choices. One Hotel.

**MIYAKO
HOTEL**
LOS ANGELES

Distinctively World-Class. Proudly Green.

Japanese Elegance in the Heart of Downtown Los Angeles

21381 S. Western Ave.
Torrance, CA 90501
Phone: (310) 212-5111
Fax: (310) 212-5112
www.miyakohybridhotel.com

328 E. First Street
Los Angeles, CA 90012
Phone: (213) 617-2000
Fax: (213) 617-2700
www.miyakola.com

「豆腐バカ世界に挑む～米国に於ける ビジネス・マーケティング成功の秘訣～」



山あり谷ありの豆腐マーケティングを紹介した、ユーモアあふれる講演に、会場には何度も笑いがこぼれた

去る9月4日、トーランスのToyota USA Automobile Museumで、第187回JBAビジネスセミナーを開催した。講師は“ミスター豆腐”こと加州NPO法人日本食文化振興協会の雲田康夫理事長。米国人の嫌いな食材トップだった豆腐を米国に広めた立役者である。その雲田さんが、米国に日本の食べ方や習慣を持ち込んだがゆえの失敗や、そうした経験を重ねながらいかに米国に豆腐革命をもたらしたか、その成功の秘策を紹介した。



【講師】

雲田康夫さん

青山学院大学卒業。1966年森永乳業入社。85年に渡米し、同社現地法人を設立、社長に就任。米国での豆腐普及に貢献し、2008年に農林水産大臣賞を受賞。加州NPO法人日本食文化振興協会理事長、中京大学客員教授、Super Frec USA INC. 会長& CEO。

豆腐普及を狙い渡米するも 待っていたのは不評につぐ不評…

冒頭、雲田さんは、「今日は私の成功物語の話をするのではなく、失敗の話をしていただこうと思います」と切り出した。「この会場で、ひょっとすると私が一番たくさん失敗をしているのではないのでしょうか」と参加者に語りかけ、波瀾万丈の“豆腐人生”を振り返った。

まず、雲田さんは渡米のきっかけとなった1980年代の乳業業界の激変を説明した。それまで日本での牛乳販売は、家庭への宅配が大半を占めていたが、殺菌技術の向上や、スーパーマーケットでの紙パック牛乳の普及によって、宅配牛乳の需要が激減したという。そこで、雲田さんが当時勤務してい

た森永乳業は家庭への宅配販売を維持し、配達員の生活を守ろうと、米や酒の販売を検討したが、規制が厳しく、うまくいかなかった。次に、日本人が毎日食べるみそ汁の具の豆腐に目を付け、長期保存が可能な無菌包装豆腐を開発する。だが、それも中小35000の豆腐屋を保護する中小企業分野調整法に阻まれ、日本国内での販売が限定されてしまった。

時あたかも米国ではヘルシーフードの時代。森永乳業は豆腐の販路を米国に求め、雲田さんに「米国人の食卓に豆腐を載せろ」と社命が下る。1985年のことだった。「空港を降りると、相撲つりのような体型の方々が目に飛び込み、これなら植物性タンパク質を広められる」と心躍らせた雲田さん。しかし、思いはすぐに空回りすることになる。

実は米国では、豆腐の原料である大豆は家畜の餌だった。「人は食に非常に保守的。口に入れて『おいしい、体にいい』と分かって初めて買おうとするものだ」と考えた雲田さんは、スーパーマーケットでの試食デモに目を付けた。何店舗か回り、豆腐の活路を、①冷奴、②豆腐のみそ汁、③麻婆豆腐の3つに絞った。「内心、これで米国を席卷できると踏んでいたんです」と雲田さん。

早速、冷奴のデモンストレーションを開始。冷奴と言えば日本では、かつお節にしょうゆだが、かつお節を知らない米国人は、しょうゆをかけると「ニョロニョロと動く」と不気味がった。また、米国でも高血圧を心配して、塩分の摂取に気を遣う人が多い。しかし、冷奴にしょうゆをかけると、しょうゆの塩っぱさが残る。さらに口に入れば、グシャとつぶれる珍しい食感…。この「ニョロニョロ」「塩っぱさ」「グシャッ」で、ほとんどの人は敬遠したという。

次はみそ汁。スーパーマーケットの店頭で、2、3片の豆腐を入れてみそ汁に入れて出してみたところ、高齢の女性が熱々を一気に飲み込みパッと吐き出した。やけどである。「アメリカ人はスープはほど良い温度で飲むと後から知りました」と雲田さん。翌日、その女性は、店長と弁護士を連れて売り場を訪れ、発声の仕事ができなくなったと休業補償と治療費を請求された。以降、冷たいみそ汁のみ許可されたが、悪評判で中止に。在庫が減らない日が続いた。

帰国命令を受け、帰国直前に見つけた アメリカでの豆腐マーケティング法

心休まらぬ日を送っていた雲田さんのもと

北川 & イベート法律事務所



KITAGAWA & EBERT, P.C.

北川 リサ 美智子 弁護士

京都大学法学修士・連邦最高裁判所認可弁護士
知識、道徳性においてトップ5%全米ランキング

www.JAPANUSLAW.COM

With Lawyers Licensed in Multiple States Including
CALIFORNIA • TEXAS • NEW YORK • GEORGIA • NEVADA • U.S. PATENT • WASHINGTON DC

#1 Choice of Japanese Companies in the U.S.

WALL STREET JOURNAL, Chicago Tribune, Los Angeles Times 各誌にて勝訴紹介

EXPERIENCE
経験

SUCCESS
必勝

REASONABLE
良心的

- 訴訟・調停・仲裁・債権回収
- 契約法・ビジネス取引・流通
- 雇用法・残業・セクハラ・RIF
- 資産売却・M&A・無税法人再編成
- 不動産・リース・建設
- 税務争訟・遺産・相続

(949) 788-9980 INFO@JAPANUSLAW.COM

300 SPECTRUM CENTER DRIVE SUITE 960, IRVINE, CA 92618-4998

に、大手スーパーのバイヤーの妻から「10ケースの豆腐を自宅に送って。家のエリックが食べるから」と依頼の電話がかかった。食べ方を聞くと「ストレートで」「エリックは箱を開けると飛び付いてくる」という。何かがおかしい。よく聞いてみると、エリックは大型の愛犬だった。米国で最初に豆腐を食べたのは犬だったのだ。悲嘆に暮れる雲田さんに、新聞記事が追い打ちをかけた。1987年、何気なく見ていた全国紙『USA TODAY』の記事に、米国人の嫌いな食材の1位に豆腐がランクイン。何と割合は35%で、ショックを受けた。

「盛大な送別会を開いてもらって送り出された関係上、今さら、白旗掲げて帰るわけにはいきませんでした」と雲田さんは述べた。ブランドイメージの改善も考えたがうまくいかない。わらをもすがる思いで、既にレストラン「BENIHANA」のブランド化に成功していたニューヨークのロッキー青木さんのもとを訪れた。成功の秘訣について、ロッキーさんは「あなたは広告塔になれるか」と聞いた。彼自身、モーター選手権や太平洋横断に挑戦し、舟艇や気球にまで「BENIHANA」の告知を徹底していた。

雲田さんは、ロサンゼルスに戻ると早速、愛車のナンバーを「TOFUNO1」に変え、広告しようと社内で提案したが、現地スタッフは「豆腐 No! になる」と指摘。結局、アルファベットで1番という意味で、「TOFU A」に変えた。マラソン大会に豆腐の着ぐるみで登場し、転倒したのをテレビに放映され、必死で知っている単語を並べてアピールしたこともあった。しかし、懸命の努力にもかかわらず売り上げは上がらなかった。

渡米から6年…。雲田さんがもがき続けている間に、日本はバブル経済が崩壊する。会社は売れもしない豆腐にお金をかけられなくなり、ついに帰国命令が下った。そこで、

通り詰めたスーパーマーケットに、「見納め」と思って出かけたところ、70～80代のユダヤ人女性が自分の育てた豆腐をカートに入れていた。「フルーツを入れてミックスし、豆腐シェイクにする。バナナ1本入れるのを忘れないで」と女性。「豆腐をシェイクし、朝食として食べるという発想に、もうびっくりしました。日系スーパーじゃ、崩れた豆腐は返品されていましたから」と雲田さん。会社に戻り、イチゴとバナナを入れた豆腐シェイクを作ったところ、現地スタッフにも大好評だった。「豆腐と言えば、冷奴ばかり考えていましたが、米国人が好むものを作ればいい。日本食は大事だけど、郷に入れば郷に従えだと気付いたんです」。スーパーマーケットの店頭で、イチゴにハチミツも入れた豆腐シェイクを紹介したところ、またたく間に行列ができた。

「我々はいろんなことで悩み、行き当たることがあります。でも、うまくいかない時こそチャレンジが必要です。高齢化を考えれば、将来人口が激減する現在1.27億人の日本人ではなく、73億人の世界を相手にSomething Newで、チャレンジし続けることが必要ですね」。

ヒラリー・クリントン夫人の一声で 米国社会に豆腐が一気に浸透

こうして軟着陸を始めた豆腐に、援軍が現われる。ヒラリー・クリントン元大統領夫人だった。93年、ラジオニュースを聞いていた雲田さんは耳を疑った。ホワイトハウスに移ったばかりのヒラリーさんが「私は健康のため、豆腐を食べているが、夫のビルは…」とインタビューに答えているではないか。「聞き間違いではないかと思いました。ラジオ局にテープを送ってもらい、社内で確認しました」。すぐにホワイトハウスに豆腐を送ったところ、3週間後、ヒラリーさん自筆署名

のサンキューカードが送られてきた。雲田さんは急に米国が好きになっていった。その後ヒラリーさんは別のテレビ番組でも「ビルはジャンクフードが好きなの。豆腐を食べさせたい。豆腐は高タンパク・コレステロールゼロ食品」と語り、会社のツールフリー番号まで紹介した。

「ホワイトハウスが豆腐を食べ始めた」とテレビで流れると、全国のスーパーから注文が殺到、倉庫に山積みだった豆腐は一気に完売することになる。本社に追加注文をファクスしたところ、「雲田はとうとう精神がおかしくなったらいい」と本社から様子を見に来たほどだった。その後、日本の工場生産では注文に追いつかなくなり、工場をポータランドで作るまでに。そして、今、豆腐は中東を含め、世界に広がった。

こうした30年に及ぶ豆腐普及の軌跡を紹介した「ミスター豆腐」は、「本社が何も言わなければ売り上げは伸びる。本社の国際性のなさが問題。信頼して現地に任せ、支援さえすれば成功する」と訴えた後、自身に立ち返り、「人間、死にもの狂いで働いていたら、他人から『あの人は、ばかみたい』と言われるようになる。本当のばかじゃ困るが『ばかみたい』とまで言われたら、成功すると思う」と結んだ。

参加者の声



JTB USA Inc.の吉田さん
「豆腐が米国でいかに広まったかよく分かりました。人生は右肩上がりではなく、チャレンジが必要という話、とても参考になりました」

Honyaku USA Inc.の小野さん

「渡米して2年目で、私もただでは日本に帰れない身。本社への考え方が胸に響きました。顧客開拓で一步踏み出す勇気をいただきました」



三井倉庫は食品の温度管理輸送を開始しました

お問い合わせ：800.mitsoko (6487656)
sales@mitsui-soko-usa.com

インタ 私のLA

ロサンゼルスで活
企業の皆さんの、企
姿と、オフの素顔を

American Honda Motor Co., Inc.
Public Relations

こばやし えりこ
小林 英莉子 さん



コミュニケーションを大切に グローバルに Honda を PR

1983年東京生まれ。University of Southern California (USC) で国際公共政策学の修士号を取得。2007年に本田技研工業に入社し、本社中近東アフリカ海外営業担当として勤務。12年より American Honda Motor Co., Inc. に広報として駐在。

相手の意見を認めた上で 自分の意見を伝える大切さ

将来は海外で働きたいと思っていたので、大学卒業時に今しかない USC の大学院に留学。ところが英語ができず授業が全く分からなかったのです。このままではダメだ！と必死で勉強し、他国の留学生に手伝ってもらって会話の練習にも励みました。そうこうしているうちに、授業も理解できるようになり、次第に「英語の流暢さでは負けても、話す内容は日本人も負けてないな」と(笑)。

大学院で学んだ一番大きなことは、アメリカ人のコミュニケーション法ですね。日本人はいきなり相手の意見を否定しがちですが、アメリカ人は相手の意見を受け入れた上で、自分の望む方向に持っていきます。異なる国や文化の人にも自分の意見を聞いてもらうには、学校でも仕事でもそうしたコミュニケーションがとても大切ですね。

大学院では公共政策を専門としていたのですが、次第にメーカーで働きたいと思



趣味はクラシックバレエにヨガ。忙しい日々の合間にもLA生活を満喫中。写真はセドナでヨガをする小林さん

うように。きっかけの一つは、アメリカで改めて日本製品のすごさを認識したことでした。日本人と

いうだけで、大学院の友人から「日本車は耐久性があって安心して乗れる」と褒められたことも。そんな良い製品を売りたいという思いと、いつか LA で働きたいという思いから、LA にもオフィスのある本田技研工業に入社。最初の4年は東京の本社で中近東アフリカの4輪営業を担当しました。その間もアメリカ勤務の希望を出し続けていたところ、「アメリカで広報のポジションがある」と声をかけてもらい、12年に念願かなって LA に戻って来たのです。

アメリカ人も日本人も 目指すところは一つ

ここでは広報のコーディネーターとして、アメリカと日本、そして世界各国にいる広報との橋渡しを担っています。簡単に言うと、異文化の間でのトラブルシューティングが主な業務と言えるかもしれません(笑)。例えば、アメリカの販売戦略だけで新製品発表の時期を決めるのではなく、全世界で効率良く広報戦略を立てるのも仕事ですが、アメリカの営業にとってはこの売上が最重要課題ですから、なかなかグローバルに考えてもらうのは難しい。でも全世界でオール Honda として考えていかないと、結局せつかくのニュースが最大限に伝わりません。それをアメリカ側にも理解してもらい、グローバルに広報活動を行っていくのが仕事です。

しかし1年目は広報の経験もなければ、アメリカ側の気持ちも理解できず、ただただグローバルなマインドセットを押し付けようとして衝突ばかり。そんな時に上司から「一方的に伝えるだけじゃなくて、まずは仲良くならなきゃ」と。ほんと、基本ですよ。それ以後、大学院で学んだコミュニケーション法を意識して仕事に取り組むうちに、アメリカ人の同僚が「英莉子は自分たちのためにやってくれているんだ」とだんだん仲間になって…。今は1年目が嘘のようにスムーズです(笑)。日本人でもアメリカ人でも Honda としてやらなくちゃいけないことは一つで、そこに向かっていくために、押し付けるのではなく、一緒にやっというコミュニケーションをとり理解し合えば、本当にいろいろなことがやりやすくなるんですよ。

広報の仕事は、メディアでの評価という形で、営業よりもっと直に反応が見える場所。賛否両論さまざまな評価がダイレクトに見えますが、それがすごく面白いんです。これからも、もっと多くの Honda 製品のファンを作っていくように頑張っていきたいです。

COMPANY INFO

American Honda Motor Co., Inc. © Honda の現地法人として、米国における Honda 製品の販売を担っている。1959年設立。Honda は79年より米国で製造を開始し、米国内で約3万人の雇用を生み出している。

ビュー ライフ

躍するJBA会員
業人として
のお伝えします。

HORIBA Instruments Inc.
President

ほりば だん
堀場 弾 さん

おもしろおかしく 日々新しいチャレンジを

1980年生まれ。2004年に京都産業大学卒業後、堀場製作所入社。08年にHORIBA Instruments Inc. ミシガン州アナーバーオフィス出向。12年にアーバインオフィスに異動。14年、University of California, Irvine Executive MBA修了。同年より現職就任。



ベストを尽くした時間が 自信になる

HORIBA で働こうと決めたのは、就職活動を始めた大学後半でした。家では会社を継ぐように言われてきたわけではなかったのですが、他の道も考えましたが、自分が最も高いモチベーションで仕事に取り組める場所はどこだろうと考えた時に、やはりHORIBA で働きたいと思ったのです。

入社後は住み慣れた京都を離れて、東京支社の営業部の配属に。創業者の孫、社長の息子だということで周りはもちろん大きな期待をしますよね。でも社会人1年目で分からないことも多く、期待に応えられないプレッシャーや、初めての一人暮らしの心細さもあり、難しい日々を過ごしました。その東京勤務の2年間は、祖父や父がよく言っていた「常にベストを尽くしなさい」という言葉を強く実感する時間でした。自分がその時にできる限りのベストを尽くしていると、周りもその姿を見て助けてくれますし、

また全力を出せる自分に対する自信も出てくるんですね。その後のチャレンジを乗り切れたの



喜びを共有するのもHORIBAらしさ。自動車事業の事業人員200人到達、製造エリア拡大の際は全社で祝った

も、東京での2年間を乗り越えられたからこそできた自信に支えられたことが大きいと思います。

2012年にMBAコースに通い始めた時もその言葉を信念にしていました。当時は渡米して4年経った頃で、自分の経営に対する知識や、英語で議論を交わし物事を決めていくプロセスでの力不足を補いたいと、仕事と並行して学び始めたのですが、学校の同級生はほとんどが30代後半から50代のマネージャー以上の役職の経験豊富な人ばかり。僕は英語も足りない部分があり、正直最初は何度もくじけそうになりました。でも、そのうちに準備をしっかりすれば英語が劣っていてもアメリカ人と対等に向き合えると分かり、それからはこっちのもの(笑)。それに最後まで諦めずに続けられたのは、クラスメートや家族、上司、同僚など周りが支えてくれたからなんですよ。

HORIBAらしさを保ちつつ チャレンジを継続

アメリカに08年に最初に来た時は、ミシガン州にある自動車事業のアナーバーオフィスにオペレーションアナリストとして出向したのですが、その時も上司に家族のように付き合ってもらい、また妻にも大いに支えてもらいました。アメリカの厳しい経営の良さもありますし、なれ合いにはならない

ように気を付けていますが、HORIBAの社は「おもしろおかしく (Joy and Fun)」。7月に他界した祖父が35年前に付けた社是なのですが、これをグループ全体でシェアできるような社風でありたいのです。

一方でビジネスを伸ばすことも大切な目標です。アメリカではHORIBAはまだまだこれからだと思っているので、当社が展開している5つの事業の各マーケットで、もっと多くの方にHORIBAを知ってもらい、製品やサービスの良さを感じてほしいと考えています。当社の製品は排ガスや自動車の試験機器や医療、半導体、理科学分野の分析機器など、表に出ない製品が大半です。しかし一般に見えづらくとも、品質や性能など、定量的に物を計ることは物を作るのに不可欠なことであり、そこから改善や成長が始まっていくと思うのです。

当社も今、色々な困難に直面しています。でもそんな時こそJoy and Funを忘れちゃならないんですよ。どんなにしんどい時も、おもしろおかしくの精神を持ち、日々新しいチャレンジを続けながら、自分も会社も一歩一歩成長させていけたらと思っています。

COMPANY INFO

HORIBA Instruments Inc. ©世界各国で自動車研究開発、環境とプロセスの計測、血液検査、半導体製造・測定をはじめ、科学研究開発や品質測定等の分野で機器やシステムを提供するHORIBAグループの米国本社。

2015年二世ウィーク・ジャパニーズ・フェスティバルを支援



写真提供: Rafu Shimpo

オープニング・セレモニーでの海部JBA筆頭副会長(左)、テリー・ハラ2015年実行委員長

JBAは地域貢献・文化支援活動の一環として、今年も「二世ウィーク・ジャパニーズ・フェスティバル」をJBA Foundationと共に支援しました。

今年は二世ウィーク75周年というめでたい年でもあり、7年ぶりに「ねぶた祭り」を併催。8月16日のグランド・パレードに引き続き、青森のねぶた師の指導でロサ

ンゼルスで制作した義経を題材にした中型ねぶたが小東京地域を巡回。その美しさや迫りに沿道の多くの観客から盛大な声援が送られました。

7月19日のオープニング・セレモニーでは、海部JBA筆頭副会長兼JBA Foundation会長が代表して挨拶し、テリー・ハラ2015年二世ウィーク実行委員長に二世ウィークへの5000ドルの寄付とねぶた祭りに5000ドル、合計10000ドルの寄付を手渡しました。

8月15日にはゴールデンサークルディナー、コロネーションボールが開催され、三宅JBA会長夫妻はじめ役員各位が出席しました。

翌8月16日は恒例のグランド・パレード、オープンカーに海部JBA筆頭副会長兼JBA Foundation会長が長女と一緒に乗り、小東京地域を巡回しました。

8月17日にはアワード・ディナーが開



7年ぶりに開催された「ねぶた祭り」のねぶた

催され、長年の多大な地域貢献活動により在ロサンゼルス日本国総領事館をはじめとする多くの方々が表彰を受けられました。



2015年の二世クイーンたち(中央クイーン)



ゴールデンサークルディナーでのJBA役員各位と家族



8月15日のコロネーションボールの幕開けを飾った二世クイーンによる踊り



写真提供: Rafu Shimpo

グランド・パレードでの海部JBA筆頭副会長と長女



FDA・各種規制対応

- FDAコンサルティング(食品、化粧品、薬品、医療機器、福祉機器、放射線、動物)
- EPA, UL, CE, VOC, AAFCO他各種登録

米国進出事業企画

市場調査、販売ネットワーク構築、日米間M&A、合弁事業、米国撤退業務引継ぎ、事務所貸出

globizz
Los Angeles・東京・大阪

Phone: (310) 538-3860 email: info@globizz.net

お問い合わせは飯田哲平迄。

1411 W. 190th St., Toyota Plaza #200, Gardena, CA 90248, U.S.A.
(株) グロービッツ www.globizz.net

サウスベイ地域部会

「LA港見学ツアー」に参加して

文：Neusoft Corporation・野澤幸弘さん



LA港の概要や歴史について話をしてくださったLA市港湾局の森本さん

JBAの企画の中でも特に人気な「LA港ツアー」が今年も7月16日、30日にMaritime Museumにて開催されました。昨年は一参加者として、今年は少しお手伝いさせていただき身として参加させていただきました。

7月16日には冒頭JBAより毎年Maritime Museumに行っている寄付の



7月16日、30日ともに大勢の方が参加されました

セレモニーがあり、Museum館長のMs. Marifrances Trivelliから特別大きなプラークが春山サウスベイ地域部会長に手渡されました。このプラークはMuseum入口のボードに掲げられていますので訪ねられた際はぜひ探してみてください。

クルーズの前にLA市港湾局の森本氏よりLA港の概要や日系人社会との関係・歴史について講演いただきました。普段何気なく生活しているだけではなかなか知ることのできない日系人社会の歴史等については非常に興味深いものです。この講演のおかげもあり昨年度のマンザナー強制収容所慰霊祭にも参加させていただきました。当地で生活する日本人にとって先人の歴史に触れることは非常に大切なことと感じました。LA港のビジネスでは、その取扱量と取引国との関係から世界経済の状況が敏感に感じ取れるとお話が印象的でした。

講演後は、たっぷり90分掛けて大型クルーズ船でのLA港ツアーです。講演後も森本氏の雄弁な解説は続きます。港に停泊する貨物船およびその業務の解説や参加者の方々からのさまざまな質問に分かりやすく詳細に説明いただきました。



Maritime Museum入口でJBAのプラークを掲げる春山サウスベイ地域部会長(右)と同館Trivelli館長

普段滅多に乗ることのできないクルーズ船を使ってのツアーはまさに大人の社会見学と言ったところでは。

まだ参加されていない方は、平日の開催ということもありお仕事の調整もあるかと思いますが、LA港の知識や日系人の歴史の面からもぜひ本ツアーに参加いただきたいと思います。



90分かけてクルーズ船でLA港ツアー

あさひ学園にて教員を大募集!

子どもが好きで、未来を担うグローバルな人材育成に関心のある方は、ふるってご応募ください。

あさひ学園教員募集要項

募集対象：幼稚園・小学部・中学部・高等部

応募資格：米国内における正規の労働許可所有者

- ①日本の教員免許所持者、または日本の4年制大学の卒業者もしくは短大卒業生、あるいはそれと同等の日本語教育を受けた者
- ②日本の高等学校、あるいはそれと同等の日本語教育を受けた米国4年制大学の卒業生(本校高等部卒業生を含む)

勤務時間：毎週土曜日 8時30分～16時30分

勤務地：サンタモニカ校・サンゲール校
トランス校・オレンジ校

選考方法：書類審査と面接

勤務条件：詳細面談

問い合わせ：あさひ学園事務局(担当：赤井)

☎ 213-613-1325

Eメール：info@asahigakuen.com

※詳細はあさひ学園ホームページをご参照ください。



オレンジカウンティ地域部会

カタリナ島日帰りツアーに参加して

文: Pacific Guardian Life Insurance Co. Ltd.・高橋卓也さん

8月16日のカタリナ島日帰りツアーに妻と二人で参加させていただきました。午前8時にLong Beachを出航。1時間ほどでカタリナ島に到着すると、レトロなトラムで島内観光です。小さい街ですが、かわいらしい家々と海を見ているだけで心が洗われていくよう。

ガイドの岩澤さんによる日本語の説明も



非常に興味深く、カタリナ島の歴史、ゴルフカートが島に住む人の日常の足となっている理由、川らしい川がないカタリナ島での水事情等々、たくさん勉強させていただきました。トラム観光のあとは少し早いランチ。海を目の前にいただく新鮮な魚介類とビールは最高です!!

午後にはグラスボートツアーからたくさん魚たちを見た後に、もっと近くで魚が見たくなり、カジノ近くでシュノーケリングをすることにしました。もともとダイビングが好きで、妻とも何回か潜っているのですが、まさかロサンゼルスすぐ近くにこんなにきれいな海があるなんて!潜った瞬間に妻と顔を見合わせてしまいました(笑)。特に、オレンジ色の魚ガリバルディ



(カリフォルニア州の海水魚のシンボル)が水中で一段と映え本当に、本当にきれいでした(波が強いところなので、小さいお子さんは気を付けてください)。

こちらに赴任して4カ月、初めてのカタリナ島は想像以上にきれいな海と、ヨーロッパのようなかわいい町並みに大満足でした。誕生日は乗船代が無料になるようなので、次はそれを狙って1泊ゆっくりしたいなあなんて思っています。今回は、素晴らしい旅をありがとうございました。

あさひ学園平成 28 (2016) 年度 園児・児童・生徒募集

—サンタモニカ校・サンゲブル校・トーランス校・オレンジ校—

【対象】

幼稚部 (200名): 2010年4月2日より11年4月1日までに生まれた人
 小学部 (300名): 2009年4月2日より10年4月1日までに生まれた人
 高等部 (60名): 1999年4月2日より2001年4月1日までに生まれた人

【出願締切】

幼稚部・小学部: 2016年1月7日(木)

高等部: 2016年1月27日(水)

※ 事務局必着 (郵送可)

【募集説明会】

入園・入学をお考えの皆様へ向けて、10月31日(土)、12月12日(土)に募集説明会を各校にて実施します。幼稚部は体験保育、小学部は授業参観ができます。ご希望の方は事務局までお申し込みください。

【あさひ学園事務局】

244 S. San Pedro St. #308, Los Angeles, CA 90012

☎ 213-613-1325, Web: www.asahigakuen.com

人間、ペット、環境に安全な方法で、家屋、ご家族のご健康をお守りします!!

<米国ペストコントロール協会36年継続会員>

<JBA25年継続会員>

◆ JBA 会員特別ディスカウント!! ◆

◆ 調査・見積もり無料!! ◆



MotherEarth

- 一般家庭・アパート・オフィスビル・レストラン・食品工場・大型倉庫・ショッピングセンター 全ての建物に対応した、ペスト&ターマイトコントロール及び定期管理プログラム!!
- 屋根裏断熱材の掃除・交換—安全なナチュラル素材で光熱費ダウン!
- 各市保健局、USDA、AIB、FDA、EPA、オーガニック、定期監査対応!
- 50名の技術者・調査員は全て、加州ライセンスを所持した、専門家!
- 1972年設立、加州で数少ない、日本人経営の品質保証サービス!

創立
40周年記念
特別割引
継続中!!

CATS USA PEST CONTROL, INC.

1-800-464-2287

(日本語無料相談窓口)

1-818-506-1000 E-mail: ftanaka@catspestcontrol.com (日本語/英語) WWW.CATSPESTCONTROL.COM

LOS ANGELES・ORANGE・SAN BERNARDINO・RIVERSIDE・VENTURA

オレンジカウンティ地域部会

「Ringling Brothers and Barnum & Bailey Circus 鑑賞」報告

文: Professional Outsourcing Solutions, Inc.・河崎直哉さん



8月2日に、オレンジカウンティ地域部会主催の下、Honda Centerで開催された「リングリングサーカス鑑賞」に家族で参加させて頂きました。

今回は、7年前に「Ringling Brothers and Barnum & Bailey Circus (リングリングサーカス)」を長男と3人で見たことがあり、その時は長男が非常に喜

んだこともあり、次男(4歳)にも見せてやりたいと思ったのが参加のきっかけでした。

7年前と比較して、今回のショー構成は芸術的な要素が多いかなと思えました。以前の方が、動物のショーが多くて子ども受けするのかな…なんて思いました。

今回のショーも2部構成になっており、お馴染みの象やライオンのショーやひょうきんなピエロの動きで4歳児も喜んでいました。やはり、動物のサーカスは子どもも大人も楽しめますね!各演目から次の演目までの舞台変えもすごくスピードがあって、2時間あまりのショーもあっという間でした。

ショーの合間に、綿あめ、アイスクリー

ム、おもちゃ等を売る売り子さんが回っており、ご多分にもれずいろいろと買わされてしまいました。

最後に、このようなイベントを設けていただいたオレンジカウンティ地域部会にこの場をお借りして、お礼を申し上げます。ありがとうございました。



21241 S. Western Ave., Suite 200
Torrance, CA 90501
Tel: (310) 320-2700 Fax: (310) 320-4630
✉ sboffice@knllp.com

<http://www.knllp.com>

An Independent Member of the
plante moran
ALLIANCE

Kakimoto
Nagashima
LLP
Certified Public Accountants
Consultants

日本人スタッフによる信頼できるサービス

会計監査・会計全般
税務全般(企業、個人)
会計アウトソーシング
コンピューターコンサルティング
経営コンサルティング

自動車リースは

アメリカでクレジットが無いと出来ないと考えていませんか??

- ソーシャル・セキュリティ番号がなくても、または申請中でも OK!
- 全米どこでも OK! どんな田舎でも、都会でも OK!
- どんな車種でも OK! シビック、カローラ、カムリ、アコード、などの日本車、アメリカ車、ヨーロッパ車、何でも OK!
- リース期間は1年から OK!
- 15ヶ月とかの変則月数でもリース可能です。
- リース料は契約期間が長くなるほど安くなります。
- リース終了後は月極めで延長も可能です。
- 納車は注文からわずか1週間ほどで可能です。
- 自動車保険の手配もお任せ下さい。

* 現在このリースプログラムを三菱電機社、NEC社、PANASONIC社など各企業の皆様に全米でご利用いただいております。

いえ、
出来るんです
どなたでも、全米この町でも OK!

お気軽に電話または
e-mail でお問い合わせください。

電話: **213-621-7775**

担当は、大橋: ohashi3@pacbell.net
又はゆきまさ: yukimasa@pacbell.net

朗報 カリフォルニア州の皆さんには、格安中古車リース
もありますので、在庫車種をお問い合わせください。

* 各種情報はウェブサイトでも、ご覧になれます。

www.LaJapaneseAuto.net

親切で安心して任せられる 33年の実績信頼 小東京で1980年創業

LOS ANGELES JAPANESE AUTO
810 E. 1st St., Los Angeles, CA 90012 • Tel: (213) 621-7775 • Fax: (213) 687-0909

10月 11月のJBAイベントカレンダー

10/4
(日)

ミラマーエアショーバスツアー
 ダウンタウン&サウスベイ地域部会

10/9
(金)

ミュージカル鑑賞「ライオンキング」
 オレンジカウンティ地域部会

10/18
(日)

パンプキンパッチ
 オレンジカウンティ地域部会

10/18
(日)

アンジェラ・アキ コンサート
 ダウンタウン地域部会

10/23
(金)

ミキサー(異業種交流会)
 企画マーケティング部会

10/25
(日)

ハロウィンピクニック
 サウスベイ地域部会

10/30
(金)

第188回ビジネスセミナー
 企画マーケティング部会

10/31
(土)

懇親ゴルフ
 ダウンタウン地域部会

11/7
(土)

カレッジフットボール観戦
 ダウンタウン地域部会

11/15
(日)

マラソン準備講座(前編)
 企画マーケティング部会

各イベントの詳細は、各部会
 からのお知らせ、およびウエ
 ブサイトをご参照ください

新入会員

Lacto USA Inc.
 3655 Torrance Blvd. Suite 470, Torrance, CA 90503
 ☎ 310-316-6250

NORITZ®
 The Simple Comforts of Life

TANKLESS給湯器に取り替えませんか?
 「洗濯とシャワーでTANKのお湯が無くなった...」「バス
 タブにお湯を溜めたいけど、お湯切れが心配」
 こんな時は、エネルギー効率が良くお湯切れの心配の無い
 TANKLESS給湯器に取り替えませんか?

お気軽にお問合せください。
 1-888-382-6568(TOLL FREE)
 JBA@NORITZ.COM

WWW.NORITZ.COM

パシフィックリム・カンパニーベネフィット・プログラム 米国駐在員のための金融サービスパッケージ

- ・渡米前に日本からの口座開設が可能
- ・便利な日本語コールセンター (フリーダイヤル・日本時間にも対応)
- ・ご帰国後の口座管理にも便利

まずはユニオンバンク日本語フリーダイヤル **1-888-507-7669** まで
 お問い合わせください。

※このプログラムのご利用は会社登録をされた企業の駐在員に限られます。

UnionBank®
 A member of MUFG, a global financial group

©2015 Mitsubishi UFJ Financial Group, Inc. All rights reserved. Union Bank is a registered trademark and brand name of MUFG Union Bank, N. A., Member FDIC. Visit us at unionbank.com/japanese.